

開き止め（補強）バー

ガラス棚板落下防止（及びたわみ止め補強）用小口径角パイプ

2200

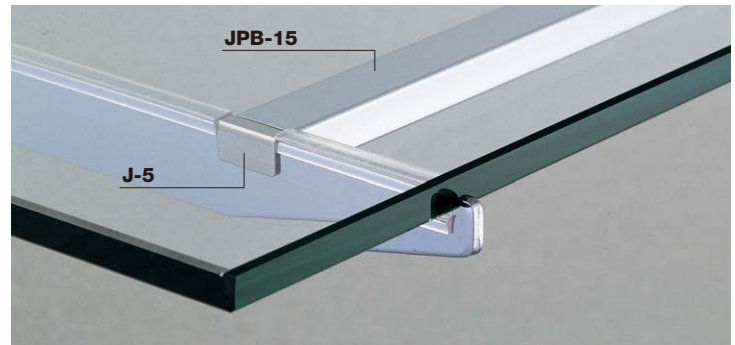
ご注文の手引き

品番	サイズ/呼び名	カラー	数量
1 JPB-9 R1	5 9 6	クローム	2
2 JPB-15 R9C	5 9 6	クローム	2
3 JPB-14 R4	5 9 5	クローム	2

上記のとおり R1 などのご記入で開き止めバーの両端に Jホルダー を打ち込みます。

品番	加工記号	仕様
JPB-9	R1	フラット
"	R3	10mm落
JPB-15	R5	フラット
"	R7	10mm落
"	R9	フラット縦使い
"	R9C	コーナー用
JPB-14	R4	フラット
"	R6	10mm落

切断ご希望の場合は必ずパイプの切断実寸法でご記入ください。（JPB-14のみ他のJPBと切断実寸法が1mm違いますのでご注意ください。詳しくは、下記、切断実寸法算出図参照）



※上記品番は、参考選択例です。

ガラスブラケット

水平ブラケット

傾斜ブラケット

ホルダー用ブラケット

ホルダー用ブラケット

開き止めバー

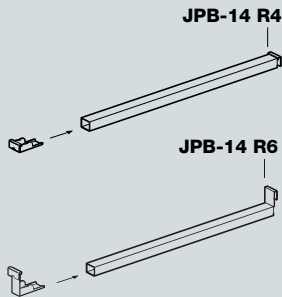
乾燥用パーツ

セフティホルダー

ガラス棚板さえ

開き止めバー-コスト

JPB-14への両端Jホルダー打ち込み加工



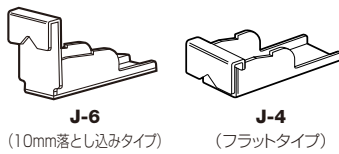
JPB-14 R4（またはR6）と品番欄にご指定くだされば両端に J-4（または J-6 の単品）の単品を打ち込み加工いたします。

両端打ち込み費 100円（仕切価格）
1本より（20本約1日後出荷）

●1700mm以上は納期を確認ください

メンテナンスパーツ
BPN（シート1枚当たり仕切価格）
透明
590円

注意 販売単位10製品。
（但し表記価格は1個定価）



Jホルダー（JPB-14用）

品番	ステンレス	APゴールド
J-4	¥140	¥210
J-6	¥150	¥220

専用 JPB-14
材質 SUS430
厚み t=1.0mm
別注色 対応不可 掲載色のみ

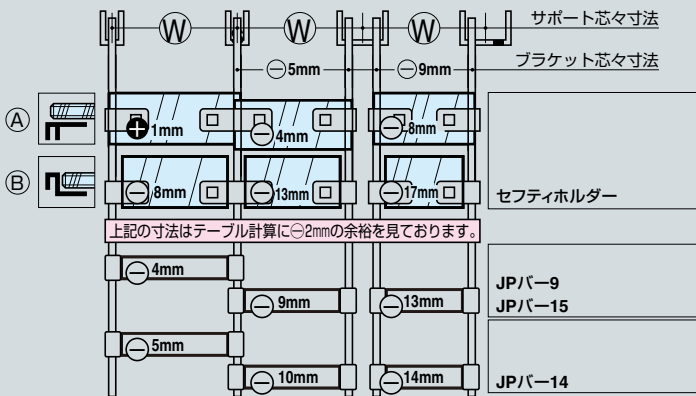
JPB-14 JPB-14

サイズ	クローム	Aニッケルサテン	APゴールド
895mm	¥1050	¥1500	¥1600
1200mm	¥1750	¥2450	¥2650
1500mm	¥2200	¥3100	¥3300
2430mm	¥3050	¥4300	¥4600

青字=要納期

※サイズがJPB-9・JPB-15（896mm）と1mmちがいますのでご注意ください。

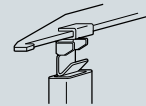
切断実寸法算出図



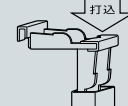
2種類有り 注意 切断ご希望の場合は必ず切断実寸法でご注文ください。またJPB-14（使用ホルダー J-4・J-6）のみ他製品より1mm短い切断となりますのでご注意ください。

JPB-9 開き止め（補強）バー（JPB）はパイプの径により嵌合するJホルダーが限定されますのでご注文の際は品番をお確かめください。（特にJPB-9とJ-9は嵌合しませんので注意が必要です。）

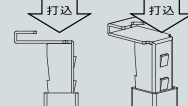
Jホルダー打ち込み方法



JPB-9、JPB-15の場合は図のように使用するブラケットを治具にして、押し込むと簡単に挿入出来ます。



JPB-14の場合は図のように予備の J-4 を治具として打ち込む事が出来ます。



J-6の場合

施工上の注意 切断加工品は切断面でのケガや破損事故などない様、きれいに面取り加工をするか何らかの保護材で覆い、安全を確保してからご使用ください。

施工上の注意 開き止め補強バー（JPB）の上にガラス棚板を設置する際は付属のクッション材は間引いたりせずに、バランス良く均等に貼り込んで必ずご使用ください。

発注上の情報 10個売り Jホルダー（J-1など）のご発注単位は10個ですが、弊社に打ち込み加工をご指定された場合は単品での対応をいたします。

設計上の情報 クローム・ゴールド 左記パターン価格表示製品は、一部製品を除き弊社オリジナルカラー対応いたします。（詳しくは 9970 参照）

設計上の注意 ステン色・白黒・他 APゴールド・Aプラスサテン以外のJホルダー打ち込み注文を頂いた場合、Jホルダーは全てステンレスとなりますので、あらかじめご了承ください。

設計上の了承 別注色 対応不可 掲載色のみ Jホルダー（J-1など）は既製のステンレス（生地）及びAPゴールド以外は承っておりませんのでご了承ください。（打ち込みご希望の場合も、この2色より選択させていただきます）

設計上の注意 開き止めバー（JPB-9）は補強効果はありません。補強効果をお求めの場合は開き止め補強バー（JPB-14またはJPB-15）をご使用ください。（9985 参照）

設計上の注意 セフティ JPB ホルダー用棚受け（2110 2150）を使用し、内々仕様ガラス棚板展開される場合は安全のため必ずJPバーと同時にセフティホルダー（2220 参照）を併用してください。

設計上の注意 ホルダー用水平ブラケットに10mm落とし込み用ホルダー（F-30など）を装着し、内々仕様ガラス棚板構成した場合振れ止め（LK）はガラスと当たるため使用できません。

設計上の注意 補強 コーナー用開き止め補強バーはJPB-15にJ-9とJ-9Cを片方ずつに打ち込んだ場合のみ可能です。（9×15縦つかい）